



月・火休館、祝日開館 開館時間 9:30~17:00

今月のご案内

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	月火曜日は 休館日		陶芸教室 夜間開放			
7	8	9	10	11	12	13
			陶芸教室 夜間開放			
14	15	16	17	18	19	20
	祝日 開館		陶芸教室 夜間開放			おさんぽ の会
21	22	23	24	25	26	27
			陶芸教室 夜間開放			ブ講座
28	29	30	31			

9月23日(月)より延期していた講座を実施します!

ブナセンター講座

<二次林のブナ 調査体験!>

二次林とは、一度伐られた後に再生した森のこと。添別ブナ林や東山など、じつは町内にブナの二次林は多いのです。二次林である添別ブナ林を長年観察してきた斎藤先生と一緒に現地調査を体験してみましょう!

【講師】斎藤秀之先生(北海道大学)

【日程】10月27日(日) 9:30~12:00

【集合】ブナセンターに9:30

【内容】座学&現地観察・調査体験(ブナの小道)

【参加費】300円※ブナさぼメンバーは無料

【対象】小学3年生~大人(小学生は保護者同伴で)

【定員】15名

【申込み】前日17:00までにブナセンター

【持ち物】野外で活動できる服装、長靴、雨具、帽子、飲み物

使用料 210円~
(大人1名2時間)
※65歳以上の町民は使用料免除

工房からのお知らせ

木工房：開館時間中は随時利用できます

陶工房：初めての方は教室にご参加ください

食工房：主に町の農家さんが冬期間に糎や味噌、豆腐を作ります(興味のある方はまずは見学を)

夜間開放 木・陶工房が無料開放になります

毎週木曜日 18:30~20:30 (材料費はかかりません)

陶芸教室 初心者向けの教室です(予約制)

毎週木曜日 13:30~15:30

18:30~20:30

参加費 粘土代 600円/1kg

完成までに
3回の来館が
必要です

黒松内版・森林療法体験会

<おさんぽの会>



歌オ森林公園のコース(往復約3キロ)を、季節の自然を楽しみながらウォーキングします。

【日程】10月20日(日) 10:00~12:00

【場所】黒松内温泉ふなの森 左側集合

【参加費】無料 【申込み】不要

【持ち物】ウォーキングしやすい服装、飲み物

身近なブナの木 ②マナヴェールのお出迎えブナ

黒松内の町木は「ブナ」。たとえブナ林に行けなくても、もっと身近な所でブナの木を楽しめるようにと、町内のいろいろな場所にブナが植えてあります。皆さんが普段よく行く場所にもブナがあるかもしれません。そんな身近なブナの木を紹介するシリーズです。

今年20周年を迎えた、ふれあいの森情報館「マナヴェール」。その駐車場の入口には、まるで来館者をお出迎えするように2本のブナが植えられています。開館した当初はまだ小さな若木で目立ちませんでしたが、今ではすっかり大きくなりました。

現在、胸高直径*18cmほど。30周年を迎える頃には、きっと門柱のように立派な木になっているかもしれません。

*胸高直径 地面から130cmの位置で測る幹の直径のこと。



駐車場入り口にすくと立つ2本のブナ



昨年度はブナセンター30周年。皆様のご支援・ご協力に感謝の年でした。

これからは歌オブナ林天然記念物指定100周年(2028年10月22日)へ。あと4年です!



FacebookのQRコードはこちら

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>

FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

わくわく土曜日ラント

どんな活動？ 町内小学生を対象とした黒松内の身近な自然や文化を体験する活動です。その季節ならではの野外活動や、プナセンターにある食工房・木工房・陶工房を利用した活動も行っています。

活動報告

2023年度の秋から現在まで、子どもたちがどんな活動をしているのか、その一部をご紹介します。

＼ Autumn /

2023. たき火で
11.5 クッキング



ツンとした寒さを感じるころ、欲しくなるのはなんとといっても「火」！そして「食欲の秋」！グループで協力して、たき火を起し、ポケットに入れて発酵させたパン生地を枝に巻きつけて焼きました。たき火にあたりながら、ほかほかパンにかじりつき、体の中も外も暖まりました。

＼ Winter /

2024. 冬のアニマル
2.18 うんちく！



※キャンドルです

雪が積もる冬にはウサギやキツネなどの動物の足跡が残り、彼らがどこを歩いたのがよくわかります。グループごとに、気になる足跡を追いかけてきました。その先にはうんちや食痕が！うんちで循環するいきものたちの命のつながりについて学び、最後は松脂をつかった超リアルな「うんちキャンドル」を作りました。

＼ Spring /

2024. まきもどし
5.25 山菜ピザ！



春といえば、待ちに待った山菜！標高の低いところから高いところへ移動し、季節をまきもどして山菜を探しました。すでに大きくなってしまったフキノトウも山の上では出たてのものが！山菜採りのワザのひとつですね。採れたての山菜をピザ生地にのせ、石窯で焼いて食べました。

＼ Summer /

2024. 川の
8.17 いきもの調査



あつ〜い夏は川へ！

今回は寺の沢川でいきもの調査。たも網と足を使って、カジカ・ゴダラッペ・ヤマベ・ドジョウ・トンギョなどの魚やミズカマキリ・コオイムシ・ヤゴなどの水生昆虫を捕まえました。学校裏の川に暮らすいきものたちとの出会いに、最後までわくわくの連続でした。

2024. 鳥の
6.15 ききなし

木の葉が茂る時期に鳥を見つけるのは難しい…。そこで今回は「耳」をつかいました。室内で様々な鳥のききなし（鳴き声を言葉に置き換えたもの）を自分なりにつくり、いざ森へ鳥探しに！ビンゴ形式で、鳴いた鳥のマスを埋めていきます。ウグイス、アオバト、キビタキなどが鳴いていました。



2024. ベビー貝化石
7.28 をさがせ！

化石ボランティアの亀水さんのお話を聞き、黒松内の様々な地層に触れ、硬さや重さから100万年のタイムスケールを体感。瀬棚層の砂の塊から小さな貝化石を探し出し、標本を作りました。



Column: わくわくメンバーの成長

わくわくの活動では、楽しいことはもちろん、危険なこともあります。ですが、活動を通じて危険やリスクとの向き合い方について自ら考えてもらっています。たき火ではスタッフが力を貸さなくても火を起せるようになっていたり、川ではどンドン魚を捕まえたり、新しい遊び方を思いついたり...徐々にできることを増やし、危険にも対処しながら、のびのびと黒松内の自然を吸収してほしいと思います。(い)